

【別紙】

「本件申立てに至った経緯」

平成6年3月、〇〇高等学校を卒業致しました。その後、地元の△△医院でアルバイトとして勤務し、借金も無く、堅実に暮らしておりました。

① 最初の借り入れについて

平成8年3月、パルロに買い物に行った際、店員に持っている買い物をするのに便利だと勧められ、セゾンカードを作成致しました。初めはキャッシングはせず、1～2万円の買い物をしておりましたが、滞りなく返済はできておりました。

② 債務が増えていった原因

手元にカードがあると便利な為、ちょっとした買い物でもセゾンカードを利用して購入するようになっていきました。

平成15年12月、胃潰瘍になり、仕事を休みがちになって収入が減ってしまった為、不足した生活費を補うために、山有中央銀行から20万円借り入れてしまいました。またその際、山有中銀DCカードを作成するのが条件であった為、CDカードを作成致しました。初めは使用しないようにしておりましたが、ついつい甘えて使用するようになっていきました。

平成16年6月、△×と結婚致しました。その際、結婚式場の係りの人に勧められ、ウェディングドレスをセゾンカードを利用して約30万円でレンタルしてしまいました。今考えると、本当に安易なことをしてしまったと、心から反省しております。

平成19年12月、当時夫が勤務していた会社の給与が11～15万円で、退職金も保険もない不安定な会社であった為、その会社を辞め、神奈川県にある会社に転職をすることになりました。その為、山梨県から神奈川県相模原市に引越しをすることになり、エボスカードから引越し費用30万円借り入れてしまいました。

私も△△医院を退職し、退職金として90万円程貰いましたが、返済と生活費で徐々に減っていきました。

平成20年12月、妊娠していることが発覚致しました。返済は、主人の給与から何とか支払っておりましたが、生活費はほとんど残らず、その上、不況で夫の収入も減ってしまい、ほとんどクレジットで買い物をするようになってしまいました。

平成21年6月、私の退職金も底を突き、夫の給与で懸命に毎月返済を続けましたが、借金の総額が200万円の程に膨れ上がってしまい、借りては返すの繰り返しで、このままでは自転車操業の繰り返しで社会に多大な迷惑がかかってしまうと思い、破産手続きをする決意を致しました。

全ては、私の精神的な弱さと経済観念の無さからこの様な結果を招いてしまったと深く反省しております。

債権者の皆様には多大なご迷惑をお掛けして、本当に申し訳ないと思っておりますが、夫と協力をしながら、今後はもう二度と借金をしない堅実な生活をしていく覚悟でおりますので、人生の再生の機会を与えて頂きます様、何卒、よろしくお願い申し上げます。